

千手観音立像を訪ねる

龍峰寺、毎年元日と3月17日に開帳



市内北部に位置する龍峰寺。ここに、年に2回しか見ることのできない国指定重要文化財「木造千手観音立像」があります。21組の手のうち1組を頭上で組む特徴ある姿は「清水寺式千手観音」といわれ、京都府の清水寺に安置されている観音像と共通の姿をしています。

カヤ材の一木造りで、像高は192センチメートル。衣の彫り方や表裏から平安時代の特徴が見られますが、面部を仮面状にしてい玉眼を入れる技法は鎌倉時代に多く、このことから同時代後期ごろに補修、または古い像に習って造られたものではないかと考えられています。

龍峰寺は、昭和初期に現在の海老名中学校付近から、現在地に移されました。境内には、重要文化財が複



龍峰寺・仁王門。秋には紅葉も楽しめる

数あり、中でも特定の日にしか見ることのできない千手観音立像は大変貴重です。
ことし2回目のご開帳は、3月17日(日)10時～15時です。時間内であればどなたでも見学できますので、ぜひ訪れてみてください。



龍峰寺の大西住職に聞きました

質問…千手観音立像とはどのようなものですか。

住職…千本の手でどのような衆生をも漏らさず救済しようとする、慈悲の力が強い観音様のことです。頭上で組んだ腕の手のひらの上には、小さな仏様が乗られているんですよ。

質問…いつ頃作られたものですか。

住職…今からおおよそ1200年以上前の平安時代に作られたものではないかと言われているのですが…。実は、はっきりした年代は分かっていない状態です。鎌倉時代に作り直されたのではないかと、いづれには分かっているのですが。いづれにしても、はるか昔の人もこの観音様の前で手を合わせ、この表情を見て穏やかにいられていたのではないかと思います。

質問…なぜ、元日と3月17日に開帳をするのですか？

住職…まず元日は、年の始めになりますので、ことし一年良いことがありますように、幸せに過ごせますようにと多くの方にお参りに来ていただいている日ということ。3月17日は、春のお彼岸の前になりますので



住職の大西龍彦さん

龍峰寺は小高い山の上に建っているお寺です。眺めも良く、季節の草花も楽しめます。公共の乗り物などでお越しいただくようお願いします。

お参りの方が多く、さらに17日が(千手)観音様のご縁日になっていともあって開帳しています。
質問…どのような年代の方が観音様を見に来られますか？
住職…両日ともお参りに来られる方が多い日なので、小さなお子さんからお年寄りまで、特に決まった年齢層はありません。3月17日はお店が出たり、境内に設営したステージで手品などの余興も楽しめるようになっていきますので、たくさんの方に お参りに来ていただくと嬉しいです。

市指定重要文化財

境内にはたくさんの文化財があります

▶**観音堂(水堂)** 現在地にはかつて清水寺がありましたが、同寺は明治初期の廃仏毀釈で廃されました。旧清水寺の本堂だったこの建物は、現在は龍峰寺の観音堂として、千手観音の前立仏が安置されています。1737年に再建、1988年に解体修理されました。



境内にただずむ観音堂

▶**仁王門** 清水寺の山門として建立されたと伝えられています。現在の門は1751年に再建され、1976年に解体修理されたものです。

▶**仁王像** 仁王門が再建された1751年に造立されたと考えられています。向かって右側が阿形像、左側が吽形像。全身に極彩色が施された両像は、非常に整った容姿で、傑出した作品といわれています。像高は2.1m。針葉樹系の木材が使用されています。



右側の仁王像・阿形像



左側の仁王像・吽形像

【所在地】 国分北2丁目13-40 【電話番号】 (231)5074 【交通】 コミバス国分ルート「国分第一児童公園」下車徒歩約5分または海老名駅下車徒歩約17分

インターネット放送局配信中
No.191「龍峰寺千手観音立像を訪ねて」

海老名市インターネット放送局 検索

